



外村吉之介デザイン「波」倉敷はなむしろ株式会社製作 1965年

はなむしろは「花ごぎ」「織込花苳(おりこみかえん)」「花むしろ」とも言われ、イ草を原材料とした美しく彩られた敷物です。

岡山県は、かつて日本におけるイ草の一大産地でした。明治以降の一時期は、錦苳苳などの高級品を主体にイ草製品は海外へも盛んに輸出されていました。しかしながら、世界情勢や生活スタイルの変化もあり、次第に生産量が減少していたところ、1930年代以降、芹沢銈介など民藝運動の関係者の助力により再び復興を遂げました。

具体的には、昭和19(1944)年に、岡山県第一経済部長であった山口泉の依頼により、芹沢銈介、そして外村吉之介が、倉敷市西阿知に数日間滞在して、芹沢は三宅松三郎に図案指導を、外村は柄の試し織りの指導を行いました。さらに昭和30(1955)年に、岡山県民藝協会指導下で、はなむしろや畳表を製作することを目的に、倉敷はなむしろ株式会社(現在は廃業)が設立され、昭和23(1948)年に開館した倉敷民藝館の初代館長となった外村が図案の指導を行いました。

本展では、倉敷はなむしろ株式会社の1960年代に製作されたはなむしろ15点を中心に、三宅松三郎商店の芹沢デザイン、外村デザインのはなむしろを一同に展示予定です。倉敷のはなむしろの魅力をご堪能頂けますと幸いです。



外村吉之介デザイン「そろばん」倉敷はなむしろ株式会社製作 1960年

関連事業

今吉俊文氏(今吉商店)と須浪隆貴氏(須浪亨商店)によるギャラリートーク

[日時] 2025年 4/20(日) 10:30 ~ 12:00

[定員] 20名程度(18歳以上優先) ※事前予約優先(ただし当日飛び込み参加も可)

[内容] 倉敷のはなむしろが作られる過程や、外村吉之介初代館長がデザインしたはなむしろの復刻についてのエピソードなどをお話頂きます。

[参加] 無料 ※別途、要入館料

[会場] 倉敷民藝館内いろりの部屋

[申込] 3月25日(火) 10時よりお電話にて受付開始、定員に達し次第受付終了

[申込先] 倉敷民藝館 電話 086-422-1637(開館日の10時-16時まで)

外村デザインの復刻はなむしろ(今吉商店)の販売

入場無料の売場において販売 ※手作り品のため数に限りがあります。ご了承下さい。



同時開催中

企画展「ゆかいな食卓」 ~2025年 11/30(日)

調理道具や器組など、食にまつわる世界各地の品々約350点を展示。

常設展示 (全館展示品数 約600点)

『岡山の民藝品』『島根と鳥取の焼物』世界各地の『金工品』『籠』『家具』『李朝の焼物と木工品』

休館日 月曜日

(祝日の場合は翌日、ただし5/6(火・振休)と8/12(火)は開館)

開館時間 10:00 ~ 17:00(受付は16:30まで)

入館料 大人 1,200円 高大生 500円 小中生 300円

交通手段 JR倉敷駅から徒歩15分

(近隣に市営の有料駐車場あり)

会場・問合せ 〒710-0046 岡山県倉敷市中央1-4-11

TEL 086-422-1637



公式HP



Instagram

倉敷民藝館

KURASHIKI MUSEUM OF FOLK CRAFT